

## 令和6年度山口県医師会警察医会総会

と き 令和6年7月20日(土) 15:00～15:20

ところ 湯田温泉ユウベルホテル松政2階「芙蓉の間」

[報告:理事 藤井 郁英]

令和6年度山口県医師会警察医会総会が県医師会の竹中博昭 常任理事の司会により開催された。

### 開会挨拶

**加藤智栄 山口県医師会長** 本日は暑い中、お集まりいただき、感謝申し上げます。この会は、警察医、県警、消防、海上保安庁、そして歯科医師など、多くの方々にご出席いただいている。また、本日は来賓として山口県警察本部の原田刑事部長、神徳捜査第一課長、山根検視官室長、山口大学から高瀬教授、姫宮講師にお越しいただき、心からお礼申し上げます。

警察医の先生方には、今日のような酷暑の日も厳寒の日も、日夜検案活動にご尽力いただき感謝を申し上げます。先生方のご活躍によって山口県の治安の一部が保たれていると思っている。

日本は高齢化社会のため、かなりの孤独死が増えており、そして地震や線状降水帯による豪雨など自然災害による死亡があると、やはり検案活動が必要である。つい最近の情報によると、警察における死体取扱数が約20万件となっている。これからも警察医の先生方にご苦勞をかけることが予想される。

本日は新潟大学から高塚尚和 先生に法医実務を丁寧に取り組むことの大切さについてご講演いただき、山口県の検案のレベルのさらなる向上を期待している。

**天野秀雄 山口県医師会警察医会会長** この会も18年目を向かえ、平素から高瀬教授を始め法医学の先生方、県警の皆様にはお世話になっている。昨夜、私の住んでいる地域が線状降水帯に入り、すごい雷と雨の量で、警戒レベル4を初めて経験し身の危険を感じた。自然災害はどこにでも起

こりうることを体験した。

災害に備え、この秋にも「多数の死者を伴う大規模災害発生時における検視・遺族対応合同訓練」の実施も予定されており、皆様方にご参加いただくことで、「顔の見える関係作り」並びに「それぞれの役割分担の意義」が分かっていただけていると思っている。

また、災害時に備えアンケートを実施するので協力していただきたい。

毎回申し上げていることではあるが、警察医の先生方のご協力あつての警察医会なので、今後ともよろしくお願ひしたい。

### 来賓挨拶

**原田勝己 山口県警察本部刑事部長** 山口県医師会警察医会総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

山口県医師会の加藤会長様、警察医会の天野会長様、また本日お集まりの皆様方には、日夜を分かたず警察活動の各般にわたり格別のご理解とご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。さらに、平素から司法解剖や鑑定業務などについてご尽力をいただいている山口大学の高瀬教授と姫宮講師に対して、心より感謝を申し上げます。

また、防府市の周防 拓 先生は、長年にわたる検視業務へのご貢献が高く評価をされ、今月、中国四国管区警察局長より感謝状が贈呈をされた。これまでのご功績に対して、心より敬意を表する。

県警察における検視業務は、本年6月末現在で1,253体のご遺体を扱っている。これは昨年同時期と比べて、28体の減少となるが、その内訳は、高齢化社会の進展に伴い、高齢者の方が全体の約8割を占め、そのうち独居の方が約4割

を占めている。また地域社会における人間関係が希薄化している傾向により、ご遺体が発見されるまで長期間を要するケースや、生前の生活実態が判然としないケースが多い。

死因究明のために解剖を実施したご遺体については、6月末現在で58体、解剖率4.6%であり、解剖実数は例年と同水準で推移している。このような情勢のもと、適切な死因究明による犯罪死の見逃し防止と、ご遺族の方々の納得が得られる検視を実施していくことは県警察にとって重要な警察課題の一つである。

そのような課題、使命を果たしていくためには、皆様方より高度かつ専門的な知識とお力添えが必要かつ不可欠である。今後も時間、場所を問わず、検視の依頼などご無理をお願いする場面も多々あると予想されるが、引き続き変わらぬご協力・ご支援を賜るようよろしくお願いしたい。

結びに本会のますますのご発展とご臨席の皆様は今後ますますのご活躍、ご多幸を祈念して私の挨拶とさせていただきます。

来賓紹介

- 山口大学大学院医学系研究科法医学講座
  - 教授 高瀬 泉 先生
  - 講師 姫宮 彩子 先生
- 山口県警察本部刑事部長 原田 勝己 様
- 同 捜査第一課長 神徳 直也 様
- 同 捜査第一課検視官室長 山根 邦彦 様

議事

議長は、会則により警察医会の天野会長が務めた。

1. 警察医会役員について

警察医会会長 天野 秀雄

6月13日に山口県医師会の役員改選が行われたことに伴い、前任の上野雄史先生、前川恭子先生に代わって、藤井郁英先生、中村 丘先生、森 健治先生が新たに警察医会理事に就任したことを報告する。

山口県医師会警察医会役員		
会 長	天野	秀雄
副会長	藤政	篤志
	小倉	寛
理 事	竹内	憲
	周防	拡
	萬	忠雄
	川端	章弘
	竹中	博昭
	藤井	郁英 (新)
	中村	丘 (新)
	森	健治 (新)

2. 令和5年度事業報告について

警察医会副会長 藤政 篤志

(1) 総会

日時 令和5年7月29日(土) 15時～15時20分  
場所 ホテルニュータナカ2階「平安BC」

(2) 役員会

・第1回

日時 令和5年5月18日(木) 15時～15時25分  
場所 山口県医師会6階第3会議室  
議題 1. 令和5年度事業報告(案)について  
2. 令和6年度事業計画(案)について  
3. 令和6年度総会並びに第31回研修会について  
4. 第32回研修会について  
5. その他

・第2回

日時 令和5年7月29日(土) 14時30分～14時37分  
場所 ホテルニュータナカ2階「平安A」  
議題 1. 総会の議事進行について  
2. 第32回研修会及び意見交換会の開催について  
3. その他

・第3回

日時 令和6年2月3日(土) 15時30分～15時43分

- 場所 ホテルニュータナカ 3階「エンジンバラ」
- 議題 1. 多数の死者を伴う大規模災害等発生時における検視・遺族対応合同訓練（第11回）について
2. 令和6年度山口県医師会表彰の推薦について
3. 山口県医師会警察医会役員について
4. 令和6年度行事予定（案）について
5. 第33回研修会について
6. その他

### (3) 研修会

#### ・第31回

日時 令和5年7月29日（土）

15時30分～17時10分

場所 ホテルニュータナカ 2階「平安BC」

講演 「オートプシー・イメージング（Ai）の有効活用法～法医学の立場から～」  
鳥取大学医学部社会医学講座

法医学分野教授 飯野 守男 先生

出席者 58名（医師26名、歯科医師1名、警察13名、消防4名、海保14名）

#### ・第32回

日時 令和6年2月3日（土）

16時～17時55分

場所 ホテルニュータナカ 2階「平安BC」

報告 「県警察本部からの報告・症例提示」

山口県警察本部刑事部捜査第一課

検視官兼課長補佐 石岡 富久 様

講演 「解剖結果の臨床医療・検案へのフィードバック」

山口大学大学院医学系研究科法医学講座

教授 高瀬 泉 先生

出席者 60名（医師27名、歯科医師1名、警察12名、消防9名、海保11名）

### (4) 意見交換会

日時 令和6年2月3日（土）

18時～19時30分

場所 ホテルニュータナカ 2階「平安A」

### (5) 令和6年度山口県医師会表彰規程（地域社会貢献）による被表彰者の推薦

藤原 弘 先生（山口市）

延谷英三朗 先生（宇部市）

### 3. 令和6年度事業計画（案）

警察医会会長 天野 秀雄

#### (1) 総会

日時 令和6年7月20日（土）

15時～15時20分

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

2階「芙蓉の間」

#### (2) 役員会

##### ・第1回

日時 令和6年5月9日（木）15時～

場所 山口県医師会 6階 会議室

##### ・第2回

日時 令和6年7月20日（土）

14時30分～15時（総会前）

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

3階「紅梅の間」

##### ・第3回

日時 令和7年2月1日（土）

15時30分～（第34回研修会前）

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

3階「紅梅の間」

#### (3) 研修会

##### ・第33回

日時 令和6年7月20日（土）

15時30分（総会終了後）～17時

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

2階「芙蓉の間」

講演 「法医実務を丁寧に取り組むことの大切さ」  
新潟大学医歯学総合研究科法医学分野教授 /  
新潟大学死因究明教育センター長

高塚 尚和 先生

##### ・第34回

日時 令和7年2月1日（土）16時～

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

2階「芙蓉の間」

**(4) 警察医会会員の意見交換会**

日時 令和7年2月1日(土)

第34回研修会終了後

場所 湯田温泉ユウベルホテル松政

3階「長州の間」

**(5) 令和7年度山口県医師会表彰規程(地域社会貢献)による被表彰者の推薦**

議長は事業計画(案)について質問を求めたが、会場からの質問はなく、令和6年度事業計画(案)は出席者の拍手をもって承認された。

以上をもって令和6年度山口県医師会警察医会総会は無事終了した。総会に引き続き、山口県医師会警察医会第33回研修会が開催された。

## 山口県医師会警察医会第33回研修会

と き 令和6年7月20日(土) 15:30~17:10

ところ 湯田温泉ユウベルホテル松政2階「芙蓉の間」

〔報告：長門市医師会／山口県医師会警察医会会長 天野 秀雄〕  
常任理事 竹中 博昭

**講演**

座長：山口大学大学院医学系研究科

法医学講座 教授 高瀬 泉

法医実務を丁寧に取り組むことの大切さ

講師：新潟大学医歯学総合研究科法医学分野教授／  
新潟大学死因究明教育センター長

高塚 尚和

本日は3つのテーマについてお話ししたい。1番目は私たちの教室で行っている硬膜下血腫の発生機序について、2番目に身元特定(出身地)に有用なツールについて、3番目に今年の1月1日に発生した能登半島地震での検案活動の内容をお話させていただきたい。

**1. 硬膜血腫の発症機序について**

硬膜下出血の原因は架橋静脈の損傷と言われているが、架橋静脈はそんなに簡単に破綻するのかという疑問がある。本当に軽くしか頭部を打っていないのに硬膜下血腫が生じることがある。そのとき、どこからの出血なのかということを研究しているので成果を少しご紹介したい。

硬膜下の出血は、架橋静脈が切れること、あ

るいは脳表面の血管が破綻することが原因である。架橋静脈が断裂するというのは有名だが、少々力で断裂するのかということが疑問である。車椅子からの転落、あるいはちょっとした転倒で硬膜血腫が見られることがある。これは一般的に none traumatic あるいは spontaneous SDH (Subdural Hematoma) と言われている。出血原因として知られているのは皮質動脈の破裂、脳動脈瘤の破裂、脳動静脈奇形、腫瘍、血液凝固系の異常である。私たちの教室が目にしたのは、spontaneous SDH では皮質動脈が破綻して、出血が起きるのではないかとということで検索を行った。spontaneous SDH では一般的に頭部外傷は無い、あっても軽微という特徴がある。出血源となりうる器質的疾患が無い、脳挫傷、外傷性脳出血を認めない、シルビウス裂の近傍の皮質動脈が破綻しているということが特徴として報告されている。高齢者に多く、急性ではなく亜急性の経過をたどる場合があるということが知られている。動脈のピンホールの損傷、本当に針先大から出血を来す。その部分が止血する際に創傷の治癒機転により硬膜あるいは脳表面の硬膜と線維性に